

子供商材の売れ筋探る

子供菓子市場規模は本紙推定で約千三百億円強と見られており、このうち玩具菓子のシェアは約半分強を占めている。少子高齢化が年々進み、子供人口は昭和五十七年から減少し続けている。

このほど全日本菓子協会が砂糖の業界と共同で全国の小・中学生を対象とした「だんらんとお菓子」作文コンテストを実施し、一万七〇〇作品が寄せられた。このコンテストは、お菓子に人を和やかにするチカラがあることを子供たちに再認識してもらおうことを願って実施されたもので、お菓子を食べたときの「楽しい出来事」「心に残る思い出」など、多くの子供たちがお菓子に高い関心を寄せていることがわかり、菓子業界にとって朗報といえる。



駄菓子屋で人気の小物菓子

明治チューインガム

好調「ガブリチュウ」

明治チューインガムシリーズで、昨年発売した(愛知県清須市)の小物菓子「生なまガム」(レモン味、グレープ味)、昨年は、「ガブリチュウ」シ

マ丹生堂本舗「コーラボトルラムネ、ラムネボトルグミ」マサンヨー製菓「モロッコヨーグルト」などがよく売れている。

ルした「すっぱいシリール」が続いている。コンビニエンスストアでは「チューインガムキャンデー」(グレープ、レモン、ソーダ、コーラ)がコンスタントに売れている。新製品としては、かき

高岡食品工業

「むぎ子チョコ」が堅調

高岡食品工業(兵庫県尼崎市)は、厳しい菓子業界にあって直近の四月、五月の売上が前年同月比を上回り好調に推移している。要因として主力商品群のファミリータイプ「ショコラ生チョコ仕立て」「ショコラピナッツ」「ショコラキナーメルチョコ」などの伸長率(金額ベース)が高いのが挙げられる。

また、累計の金額ベース(昨年十月〜今年四月)でも、「ショコラピーナッツ」「ショコラ生チョコ仕立て」の伸びが高い。金額ベースで見ると、「シ

フルタ製菓

根強「チョコエッグ」

「サッカー・ワールドカップ」が開催されるが、同社の「ネットインサッカー」(二〇〇円)が良

フルタ製菓(大阪市)はチョコレートでは「生クリームチョコ」が好調で本紙が毎月POSデータをもとにカテゴリー別の売れ筋商品を発表しているが、「生クリームチョコ」がここ数カ月間はベスト5以内にランクインしている。同社の看板商品である「セコイヤチヨコレート」は力カオの高騰により、やむを得ず、三〇円を四〇円に価格改定したが、当初は厳しい商戦が強いられたものの、直近では、売れ行きも回復している。

玩具菓子部門では、「チョコエッグ」が好調で、「スーパーマリオ3」がチョコエッグファンの支持に支えられて三年度のランキング一〇〇位中、中位前後をキープしている。玩具菓子と小物菓子のベスト5は次のとおり。

丹生堂本舗

各種「ボールラムネ」好評

(株)丹生堂本舗(大阪市生野区)は、オリジナリティの高い独創性のある小物菓子を長年にわたる作り続けており、春から夏に向けてはラムネ菓子を、秋から冬に向けてはチョコレート、グミなどを中心にして製造・販売している。

今この時期は、ラムネ菓子が最盛期でレギュラー商品の「コーラボールラムネ」「グレープボールラムネ」「サイダーボールラムネ」「オレンジボールラムネ」が好調だ。

ギンビス

「たべっ子どろどろ」好調

(株)ギンビス(東京都)は、小物菓子の主力商品「たべっ子どろどろ」や、

「サッカー・ワールドカップ」が開催されるが、同社の「ネットインサッカー」(二〇〇円)が良

【子供菓子】①プリキョアネイルシール②わなげチョコ③セコイヤチヨコレート④ミルク⑤プリキョアフルーツゼリー⑤ゴセイジャーフルーツゼリー

六月に南アフリカで